

「地域のイノベーションエコシステム」

山形大学
アントレプレナーシップ教育研究センター
センター長 小野寺忠司

山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター 体制

山形大学

産学連携担当：理事・副学長 飯塚 博

アントレプレナーシップ教育研究センター



山形大学 教授
アントレプレナーシップ教育研究センター長
元NECパーソナルコンピュータ株式会社
Executive Officer(執行役員) 兼Lenovo Executive Director

小野寺 忠司 ONODERA Tadashi



山形大学 准教授
アントレプレナーシップ教育研究センター 副センター長

菅生 達仁 SUGAOI Tatsuhito

コーディネーター

服部、齋藤、佐藤、丸尾、安房、八巻(事務サポート)

客員教授、招聘講師

13名

リエゾンアドバイザー

14名

アントレプレナーシップ教育研究センター

ビジョン

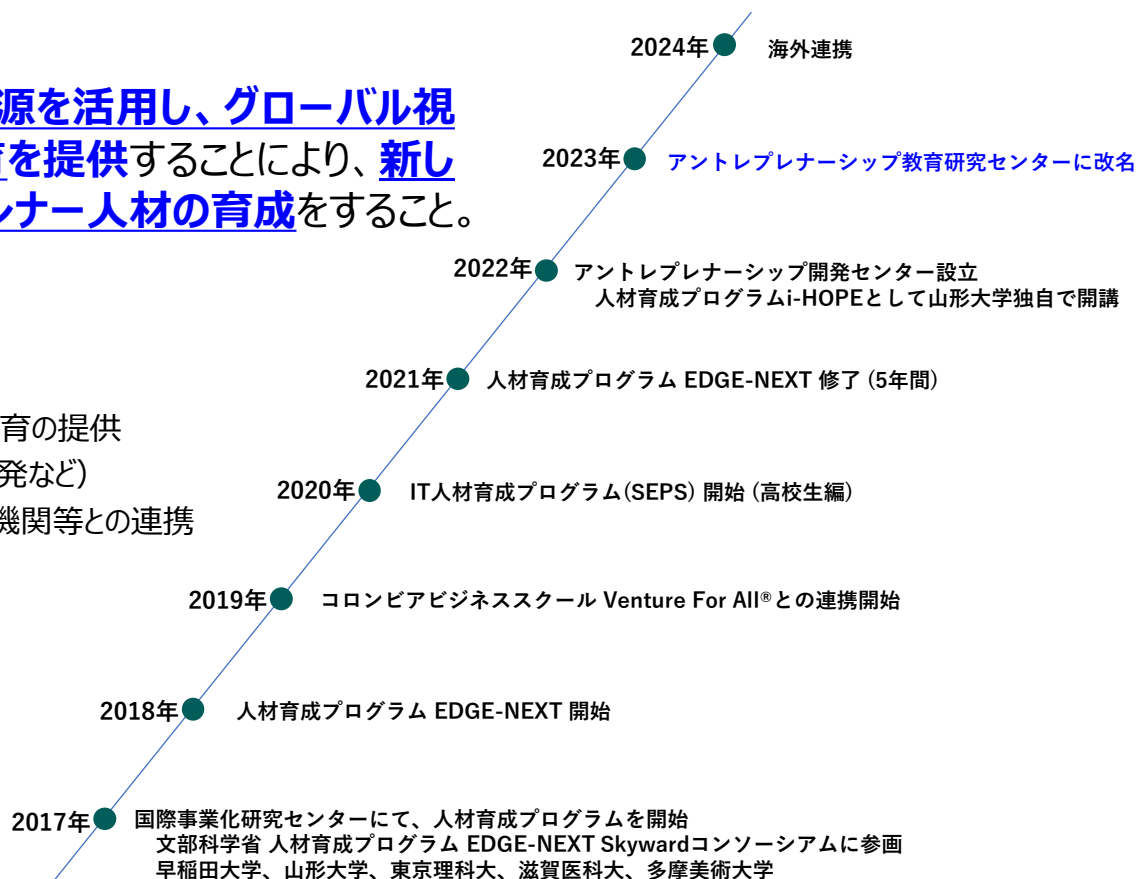
山形大学が文科省のEDGE-NEXT事業にて培ってきた独自のアントレプレナー教育プログラムと山形大学が長きにわたって培ってきた教育資産と融合し、時代のニーズに合った先進的な取り組みをいち早く、教育、地域に還元することで、**山形を世界から必要とされるイノベーション創出の産業地域、21世紀型のシリコンバレーのような産業地域を実現する。**

ミッション

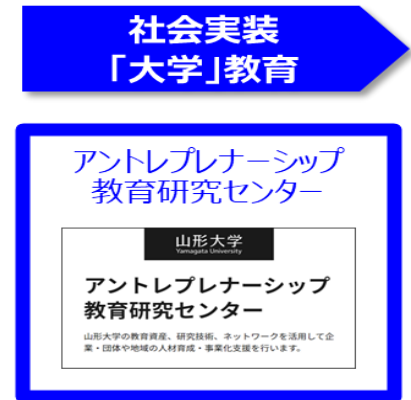
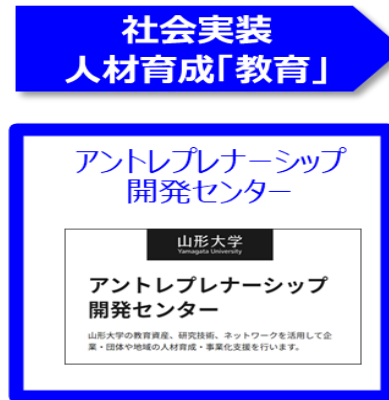
社会の持続的な発展に寄与するため、**地域資源を活用し、グローバル視点に立った実践的なアントレプレナーシップ教育を提供**することにより、**新しい価値創造に挑戦する意欲を持ったアントレプレナー人材の育成**をすること。

業務内容

- 本学学生へのアントレプレナーシップ教育の提供
- 地域の中・高校生および社会人へのアントレプレナーシップ教育の提供
- アントレプレナーシップ研究（効果的な教育法、プログラム開発など）
- アントレプレナーシップに関する社会・地域との連携、国内外機関等との連携
- 上記活動によるスタートアップ創出支援



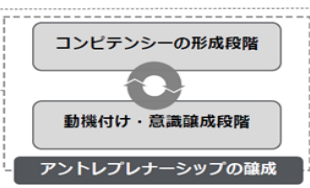
アントレプレナーシップ教育研究センターの設置



合計15社のベンチャー創出

「ベンチャー創出数」「新事業創出数」をKPIとしたプログラム開発・運営

グローバル教育（コロンビアビジネススクールとの連携、グローバルコミュニケーション合宿の開催）の導入



人材育成プログラム「i-HOPE」開講

イノベーション教育学会 年次大会主催

山形県「ソーシャルイノベーション創出モデル事業」受託

学部基盤共通教育科目「アントレプレナーシップ概論」開講

大学院基盤共通教育科目への講義提供

「高校向けアントレプレナーシップ教育プログラムの開発」開始

山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業

8つのベンチャー・事業の創出（実績拡大中）

ベンチャー及び事業実績 (34社)

山形大学発
ベンチャー
11社

Lumiotech
ルミオテック(株) (2008)
照明用有機ELパネル



Natural Process Factory
ナチュラルプロセスファクトリー(株) (2009)
有機EL植物工場、常温乾燥機の研究開発、製造販売



Organic Lighting Corporation
オーガニックライティング(株) (2009)
有機ELデザイン照明機器、開発、製造販売



Vegea
(株)ベジア (2016)
有機EL植物工場及び常温乾燥生産工場の運営、販売



DLM
（株）デライトマター (2016)
3Dプリンター技術でソフトゲル素材を使用した医療、介護分野の製品、開発販売



Future Ink
（株）フューチャーインク (2016)
プリントドエレクトロニクス関連製品の開発、製造販売



（株）フラスク (2017)
有機EL等の有機半導体関連材料の研究開発、製造販売

（株）飯豊電池研究所 (2016)
次世代ロボット、産業機器向けリチウムイオン電池設計・開発、安全性試験

アプリザイム(株) (2011)
微生物由来酵素を利用した有害物質の無害化



24社設立

連携ベンチャー
3社

アルファテック(株) (2018) EN
米粒を加熱・粉砕する技術で、アルファ化米粉の製造、技術普及

Cool ALD (株) (2019)
低温薄膜コーティング技術の開発受託、装置販売

バッテリーイノベーションハブ (2019)
次世代リチウム電池の研究・開発

(株)Yume Cloud Japan EN
感情表現エンジン
山形大学/東北大学/AI関連企業と連携し感情表現エンジンの開発を開始

(株)next is east
日本トップクラスのクリエイター地域/地域企業のブランディング支援

(株)酒オンタップ山形
日本酒流通のイノベーション地域資源を活用した六次産業化

EN

EDGE-NEXT
ベンチャー
10社
アルファテック
Yume Cloud Japan
を含む

“インキュベーションポートやまがた(株)” EN
学生中心に設立、事業を運営。学生のビジネスアイデアを育成、具現化する会社
Incubation Port Yamagata Inc.

“A-kakanai design” EN
世界一絵を描かないデザイン事務所開設
A kakanai design

“EnoGG株式会社” EN
ホスピタルアート絵画によるアーティスト支援事業

“酒処 KITAMAE” EN
酒田柳小路「北前横丁」に新店オープン。北前船の寄港地(酒田)の日本酒とそれに合うつまみなどをお客様に提供し、庄内・酒田の魅力を発信する

“株式会社 hyoi” EN
いつでもどこでも行きたい場所の景色が見られる目線のシェアリングサービス
hyoi

“株式会社 rebond” EN
山形県内の全ての学生のための情報メディア「やまがた学生情報局」の運営

“株式会社 EC” EN
MANAGURUはTVを基軸としたプラットフォーム事業

“meemotto” EN
セルフエステサロン meemotto

“PRE-EVEピリティ” EN
プラグインEV走行に必要な最小限の電池を搭載し、小型発電機による発電走行可能な技術を実装

山形県ソーシャル
イノベーション創出
モデル事業
創出ベンチャー及び事業
10

一般社団法人
最上イノベーションエグゼクティブ

最上地域
早生桐産業創造プロジェクト

「大学食堂おいしい山形」プロジェクト

「共創の拠点」をつくる「サイヒロコプログラム」

合同会社 Circular Thanks

株式会社 リンクス

「金山町・神室の自然に触れるアクティビティ」道楽 神室ベース

移住者と遊休不動産を繋げる「空き家・移住アソシエーション」

一般社団法人 Fuku-Well

株式会社 Ciel

次世代アントレプレナー育成事業 終了評価

(次世代アントレプレナー育成事業 終了評価)

EDGE-NEXT 人材育成のための共創エコシステムの形成 (実施期間：平成 29 年度～令和 3 年度)

(1) 評価結果

総合評価	I. 目標達成度	II. 取組状況	III. 計画・改善 手法の妥当性	IV. 今後の 見通し
S	S	S	S	a

総合評価：【S】

優れたアントレプレナーシップ教育提供コンソーシアムのロールモデルとなる取組みであり、今後のイノベーション・エコシステムの持続的発展も大いに期待できる。

アントレプレナーシップ開発センターの主な実績



i-HOPE

新事業創出イノベーションプログラム
リーディング推進リーダー育成コース
IT人材育成プログラムDX基盤強化推進
リーダー育成コース(SEPS-Pro)



ソーシャル イノベーション 創出モデル事業

(山形県と連携)
最上地区をフィールドに、地域課題/地
域資源をテーマに、ビジネスアイデアを創出
しビジネスモデルを社会実装



学術指導契約 に基づく 事業化指導

(例)株式会社サニックス
EVトラックの研究開発/マーケット
戦略立案に関する伴走支援



山形大学

工学部(集中講義)
基盤教育(R5新規)

他大学へプログラム提供

東北芸術工科大学
山梨県立大学

i-HOPE

IT人材育成プログラム
スーパーエンジニアプログラミングスクール
(SEPS)

やまがたビジネス プランコンテスト

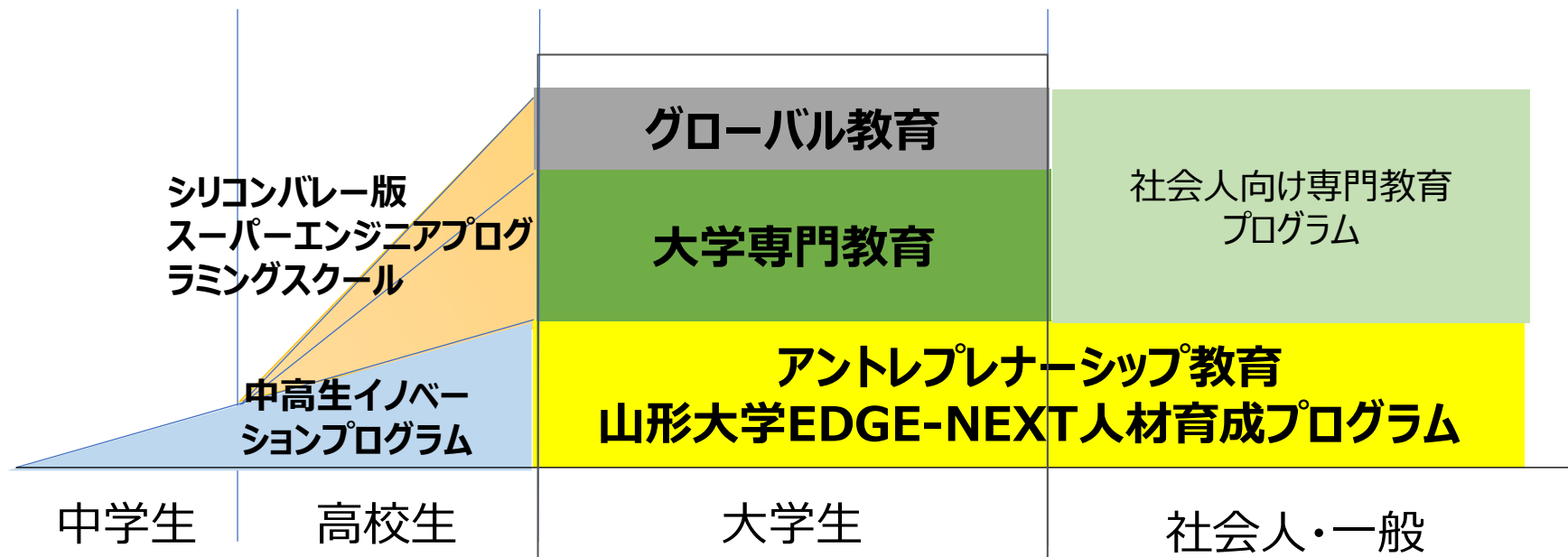
(山形県・YBCと連携)

山形大学 人材育成プログラム **i-HOPE**

※ i-HOPE: Development of Innovative Human resource toward Outcome the Program for Entrepreneurship

中高生から社会人までの一貫した教育プログラム

- 実践的な教育の3要素：アントレプレナーシップ、専門知識、グローバル力
- 大学教育をコアに、中高生、社会人・一般へと、一貫通貫の教育プログラム



アントレプレナーシップ教育研究センター 令和5年度の事業一覧

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
山形県事業	ソーシャルイノベーション創出モデル事業/スタートアップステーション連携 (Yori-i プロジェクト: 最上地区)											
JST START	みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム(MASP) (主幹: 東北大学 + 9 大学)											
i-HOPE												
(社会人)	リーンマネジメント推進 リーダー育成コース											
	リスクリングIT人材育成プログラム SEPS(前期)					リスクリングIT人材育成プログラム SEPS(後期)						
(社会人・大学生)	新事業創出イノベーションプログラム											
(高校生)	IT人材育成プログラム SEPS(前期)					IT人材育成プログラム SEPS(後期)						
大学教育 プログラム												
	山大工学部 集中講義(単位)					基盤教育 アントレプレナー教育概論(単位)						
	東北芸工大(単位)											
	山梨県立大学											
中高生向け プログラム												
	イノベーションプログラム											
	鶴岡工業高校 アントレプレナー教育(EDGE-PRIME)											
イノベーション 教育学会												
	幹事会											

新事業創出イノベーションプログラム

山形大学人材育成プログラム i=HOPE

山形大学 人材育成プログラム **i-HOPE**

※ i-HOPE: Development of Innovative Human resource toward Outcome the Program for Entrepreneurship

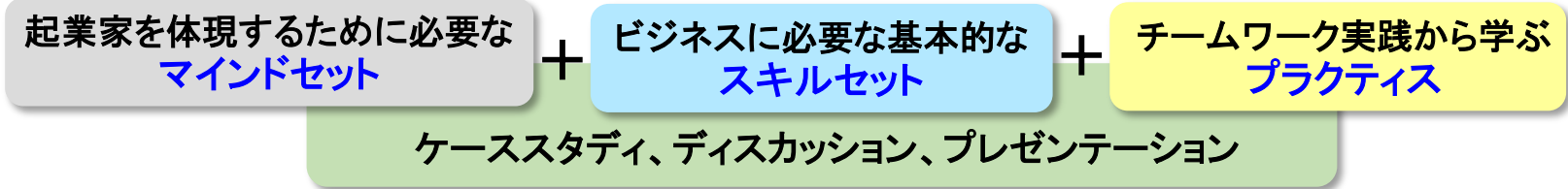
EDGE-NEXT人材育成プログラムの後継 → **i-HOPE (イノベーション人材育成)**

プログラム・コース名	対象	重点	育成のねらいと実施内容
新事業創出 イノベーションプログラム	学生 社会人	人材 育成 + 新規 事業	育成：リーダー人材／イノベーター人材 目的：新規事業立上(会社)、起業(個人) 内容：アントレプレナーシップ教育(マインドセット、 スキルセット、プラクティス)、事業化支援等 開催：講義 隔週土曜日 全15回+合宿研修 2回
リーンマネジメント推進 リーダー育成コース	社会人 学生	人材 育成 + 基盤 強化	育成：リーダー人材／マネジメント人材 目的：経営課題解決、収益力強化 実施：リーンマネジメント教育(生産性向上、経営 改善、収益改善等、問題解決手法の習得開 催：毎週火曜日全16回開催
IT人材育成プログラム ・スーパーエンジニアプログラ ミングスクール(SEPS) ・DX基盤強化推進リーダー 育成コース (SEPS-Pro)	SEPS 高校生 *-Pro 社会人	人材 育成 + 基盤 強化	育成：リーダー人材／IT(DX推進)人材 目的：高校生向け実践的IT能力育成(SEPS)、 経営基盤強化や新規事業創出につながる DX能力の育成(SEPS-Pro) 開催：課題解決型プログラミング教育、シリコン バレー連携、コンテンツ活用オンライン教育

山形大学 i-HOPE 新事業創出イノベーションプログラム

世界トップクラスの経営大学院であるコロンビアビジネススクール(CBS) Venture for All® Program と 山形大学 人材育成プログラム i-HOPE が連携アントレプレナー育成に向けたオリジナルプログラムを構築

□自らイノベーション(事業化)を起こし、地域創生を体現する人材の育成



山形大学 人材育成プログラム i-HOPE
「起業家育成プログラム」



 山形大学
Yamagata University
人材育成プログラム i-HOPE

業界で有名なゲスト講師陣から学ぶ

CBSの人気コンテンツをベースにした
「Venture for All® Program」



 Columbia Business School
AT THE VERY CENTER OF BUSINESS™
 

MBAのエッセンスを学ぶ

客員教授・招聘講師

	<p>山形大学 客員教授 Tenstorrent Chief Customer Officer Davit Bennett デビット・ベネット 氏</p>		<p>山形大学 客員教授 (仏)科学芸術創造協会 代表 SAI Hiroko サイヒロコ 氏</p>		<p>山形大学 アントレプ レナシップ® 教育研究センター 招聘講師 (株)Just on time/(株)next is east 代表取締役社長 Manjot S Bedi マンジョット・ベディ 氏</p>
	<p>山形大学 客員教授 三井住友信託銀行株式会社 副会長執行役員 NES株式会社 取締役 NOGUCHI Kengo 野口 謙吾 氏</p>		<p>山形大学 客員教授 みやこキャピタル(株) 代表取締役 元JAFCO Ventures President & CEO SUGAYA Tsunesaburo 菅谷 常三郎 氏</p>		<p>山形大学 アントレプ レナシップ® 教育研究センター 招聘講師 リリース・トランサポート 代表 早稲田大学/電動MS専門職大学 非常勤講師 Lily Noriko 莉々 紀子 氏</p>
	<p>山形大学 客員教授 元ノキア中央研究所シニアリサーチャー Gadget Labo. Inc CEO SEKO Shigeyuki 瀬古 茂幸 氏</p>		<p>山形大学 客員准教授 Lenovo Executive Director KAWASHIMA Kenichi 川島 健一 氏</p>		<p>山形大学 客員教授 山形県生産基盤支援協議会アドバイザー SHIBATA Takashi 柴田 孝 氏</p>
	<p>山形大学 客員准教授 一般財団法人SFCフォーラム 事務局長 SFCフォーラムファンド® ファンドマネージャー HIROKAWA Katsuya 廣川 克也</p>		<p>山形大学 客員教授 HIRO SOCIAL PRODUCE LABO 代表 京都芸術大学芸術教養センター 客員教授 WATANABE Hiroyuki 渡辺 広之 氏</p>		
	<p>山形大学 客員准教授 シナプテック(株) 代表取締役CEO ヴィジョナリーパワー(株) 代表取締役CEO TODA Tatsuaki 戸田 達昭</p>		<p>山形大学 客員教授 元鶴岡工業校長 ABE Susumu 阿部 進 氏</p>		

新事業創出イノベーションプログラム：活動進捗状況


全15回の講義実施の中で、国内・海外で活躍する業界では有名な事業経験豊かなゲスト講師15名をむかえ、マインドセット醸成、スキルセット習得を行う**具体的でかつ実践的な内容の講義を実施**。

チームワークでは、講師2名に加えコーディネータ3名による、事業化に向けたリアルなメンタリング指導を実施。

期間： 5/13(土) -12/16(土) 隔週土曜日
 講義数： 講義 15回 x3コマ + 研修 2回
 形式： ハイブリット(会場+Web)or オンライン
 参加者： 社会人 40名 (一般 37名、行政 3名)
 74名 高校教諭 21名 (県内：20名、秋田県：1名)
 大学生 13名 (山大：12名、滋賀医科大:1名)




講師・コーディネーター：




塾長
山形大学 教授
アントレプレナーシップ教育研究センター長

小野寺 忠司




山形大学 准教授
アントレプレナーシップ教育研究センター副センター長

菅生 達仁




山形大学 客員准教授
一般財団法人SFCフォーラム 事務局長
SFCフォーラムファンド ファンドマネージャー

廣川 克也



山形大学 客員准教授
ヴィジョナリーパワー(株) 代表取締役CEO
起業家、元中央教育審議会委員

戸田 達昭



山形大学
アントレプレナーシップ教育研究センター
リエゾンアドバイザー
レノボ・ジャパン合同会社勤務
2022年度 i-HOPE 修了生

張 穎超



4-1: 白根 有一 氏



4-2: 小松 洋介 氏



5-3: 渡辺 広之 氏



7-2: Manjot Bedi 氏



8-1: 谷本 有香 氏



8-2: 武田 昌大 氏



10-3: 角氏, 森部 氏



11-1: 菅生 達仁



11-2: 講師陣



12-1: 相原 嘉子 氏



12-2: サイヒロコ 氏



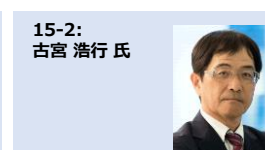
13-1: 廣川 克也 氏



14-1: 川島 健一 氏



15-1: 菅谷 常三郎 氏



15-2: 古宮 浩行 氏



16-2: 田中 雅敏 氏

フィールドワーク・アイデア創出ワークショップ

最上地区の地域課題を解決するビジネスプランを作成するために現地でヒヤリングを実施し、ビジネスアイデアを創出するワークショップ、チーム発表を実施。受講生60名、他関係者含め、総勢83名が現地で参加。

期間：7/22(土)-7/23(日) 1泊2日の合宿形式

視察地：金山町、真室川町、鮭川村

会場：ホテルシェーネスハイム金山（山形県金山町）

参加者：総勢 83名

受講生：60名（他、7/23 Web参加 8名）

出席率：81%

講師、メンター：12名

地域コーディネーター：6名

事務局：5名



	時間帯	内容
7/22 (土)	13:10-13:20	開会式
	13:30-17:30	フィールドワーク（地域視察） 3コースから選定(バス移動)
	18:00-18:30	ウェルカムイベント@シェーネスハイム金山 ご挨拶：金山町 町長 他
7/23 (日)	8:30-9:00	講義：廣川克也氏
	9:00-15:00	チーム・ワーク： ビジネスアイデア創出、メンタリング
	15:00-16:30	チーム発表：3分発表 x19
	16:30-16:45	講評、閉会式



グローバルコミュニケーション(英会話研修)

グローバルリーダーを目指すにあたり、単に英会話の能力を向上させるのではなく、特に英語を聞く力、コミュニケーション力、自己表現力を向上させるため、参加型の実践的な英会話向上トレーニング研修を画集区形式で実施。

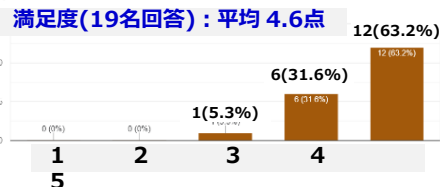
22名が参加し、苦勞したが満足度が高い評価を得た。

期 間： 9/2(土) -9/3(日) 1泊2日の合宿形式
会 場： ホテルシェーネスハイツ金山 (山形県金山町)
参加者： 受講生22名 (社会人18名： 学生：4名)
講 師： 莉々 紀子氏 他外国人講師 現地2名、オンライン2

DAY	TIME	CONTENTS
Day1 9/2 (Sat.)	8:30-10:00	Opening, Icebreaker, Mini Lecture
	10:15-11:45	Speaking Exercise
	11:45-12:45	Lunch
	12:45-14:15	Pitch Practice
	14:30-17:15	Group Work 1,2 (4 groups)
	17:30-18:00	Feedback
	19:00-20:30	Cross-Cultural Session
Day2 9/3 (Sun.)	8:30-9:30	Pitch Practice
	9:45-11:15	Final Pitch
	11:30-12:30	Wrap-Up, Feedback, Closing

<アンケート結果>

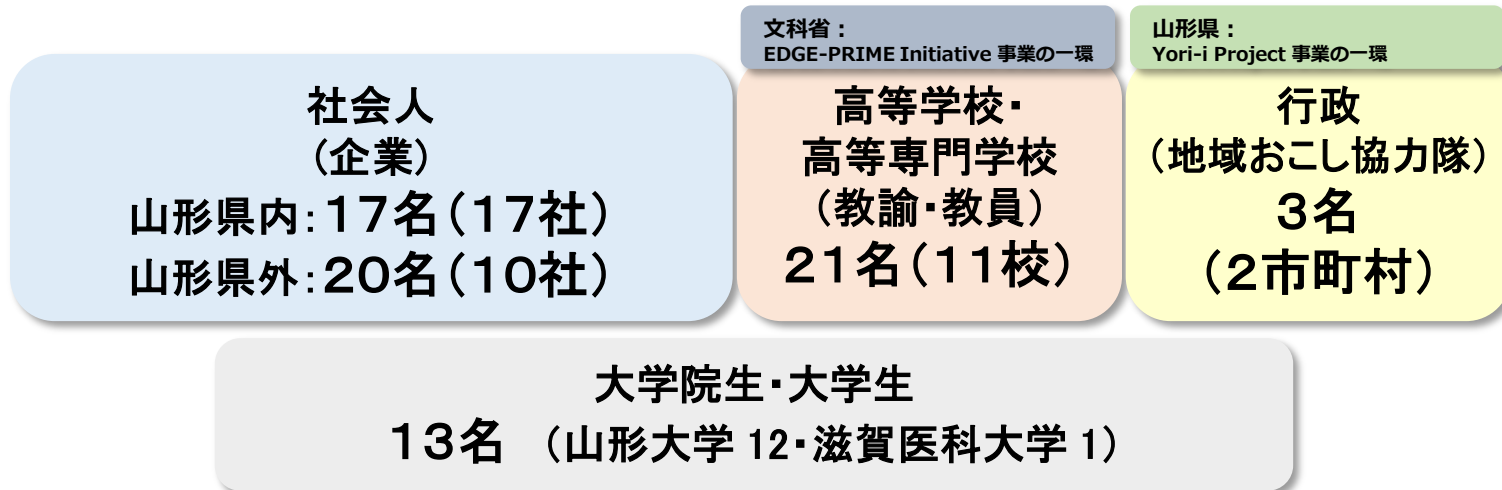
- ・厳しかった。大変だった。
- ・ハードだった。
- ・最初はビビった。
- ・今までで、一番衝撃を受けた講義。
- ・非常に苦勞した。



受講生：74名
社会人61名、学生13名 (6/11時点)

社会人・高等学校・行政・大学生 幅広い層から参加

組織やセクターの枠を超え、互いの強みやノウハウを持ち寄って、課題解決に取り組む



人数			年齢					
合計	男性	女性	平均	50歳以上	40歳台	30歳台	20歳台	10歳台
74	63	11	34.9	11	11	26	21	5

※2022年度受講生(申込者) 108名：社会人47名、学生61名(無料コース含む)

中高生向け「やまがたイノベーションプログラム2023」

将来の経済の担い手である中高生向けに、起業家教育を通して、マインドセット(精神)を醸成し、スキルセット(知識)を学ぶ、イノベーションプログラムを実施。(5回目)

主催: Yamagata yori-i project(山形県企業振興公社、山形県)
山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター、山形放送

特別協賛: 山形銀行

期間: 募集開始 7/12(水) ~ 発表会 10/29(日)

参加者: 11校 16チーム (44名)

7/12(水)
~8/21(月)

募集期間 (講義・動画視聴)

エントリー:
11校(31チーム)

8/21(月)

募集締め切り

書類提出:
11校(21チーム)

9/11(月)

書類選考結果通知

書類選考:
11校(16チーム)

10/1(日)

キックオフ(講義+メンタリング)
場所: 山形テルサ

10/2(月)
~10/27(金)

オンラインメンタリング 2回

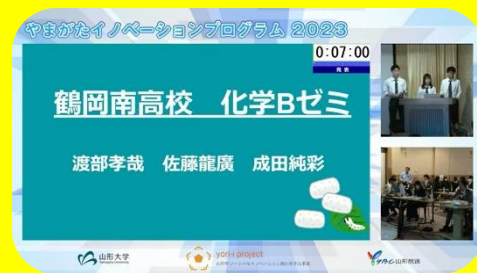
メンター8名
による指導

10/28 (土)
-10/29 (日)

メンタリング合宿 (1泊2日)
場所: ヒルズサンピア山形

最終発表会

最優秀: 鶴岡南高校
優秀: 山形東高校
酒田西高校



山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業

Yamagata yori-i project



プロジェクト概要説明

チーフコーディネーター：小野寺 忠司



課題

10年後・20年後も山形県が存続すること

=

持続可能な地域社会として次の世代に引き継ぐこと

yamagata yori-i project

より多くの方に関心と親近感を持って認知してもらうために、事業の“愛称”を設定しました。

それが **yamagata yori-i project** です。

「ちょっと“よりあい”行ってみっぺ」「“よりあい”さ話してみっぺ」
本当の意味で、セクターを超えて誰もが参加できる場であるために。

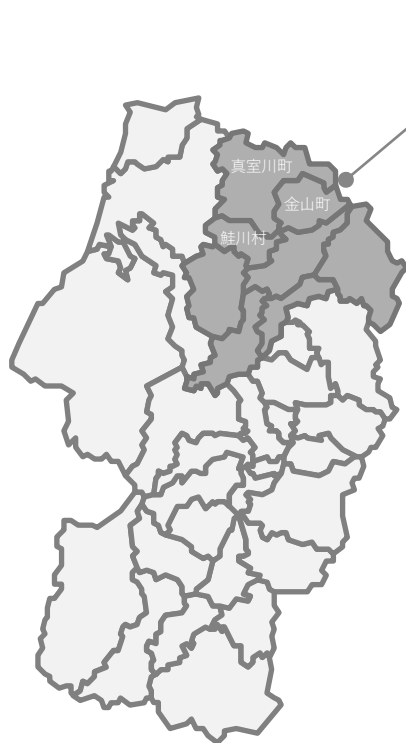
yamagata yori-i project

やまがた よりあい ぶるじえくと

寄り合って、撚りあって、より愛する故郷へ。

コレクティブ・インパクト（集合的な解決手法）をエンジンにした地方創生への挑戦。

モデル地域／山形県最上地方



もがみ 山形県最上地方

最上地方の自治体
新庄市 / 金山町 / 最上町 / 舟形町 / 真室川町 / 大蔵村 / 鮭川村 / 戸沢村

課題の根拠となるデータの集積とヒアリング実施地域
金山町 / 真室川町 / 鮭川村

最上地方の基本情報

面積 | 1,803.62 km^2
2009年10月1日

人口 | 84,319人
2010年10月1日

約20%減

68,298人
2022年4月1日

モデル地域選定の理由

■ 課題の先進性

- 大都市圏でビジネスを生み出すよりも、地域でやるほうがはるかに難しい
- 日本は課題先進国と言われてるが、山形県はそのトップランナーといえ、特に最上地域では少子高齢化・人口減少の進度が早い
- 最上地域をフィールドとして、いち早く地域課題を解決することで、今後必要とされる新たなビジネススタイルの実証、構築が可能

■ 題材の宝庫

少子高齢化、若者流出、雪問題、空き家問題、後継ぎ問題 など

アプローチ



×



地域に入らないとわからないミクロな視点：

プロジェクトコーディネーターが地域に入ってヒアリングを行い、社会的インパクトにつながるテーマや課題、資源を抽出します。

データから見るマクロな視点：

RESASなどの公開データから見えてくる構造的な課題の抽出のほか、ミクロ起点の課題を社会インパクトにつなげるための裏打ちを行います。

ミクロとマクロ、両方の視点で地域を捉える

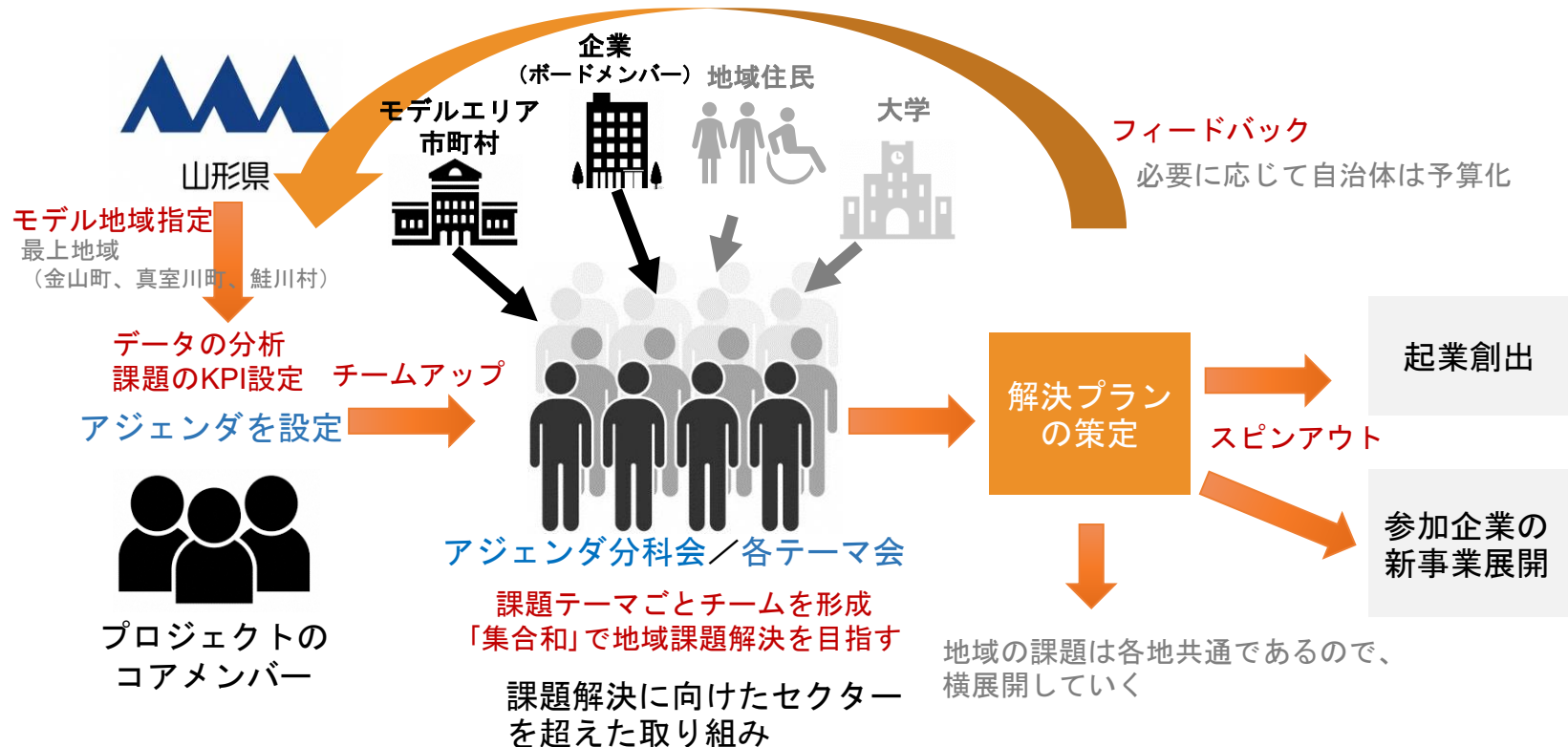
パーパス

過去から本質を理解して、
未来のあるべき姿に向かって
創造し行動することで、
最上から日本や世界を良くしていく

社会実験として事業をスタートさせ、改善を繰り返し、事業としての精度を高めていく

Collective Impact (集合的な成果・影響力)

「コレクティブ・インパクトとは、特定の社会課題に対して、ひとつの組織の力で解決しようとするのではなく、行政、企業、大学、NPO、基金、市民などがセクターを越え、互いに強みやノウハウを持ち寄って、同時に社会課題に対する働きかけを行うことにより、課題解決や大規模な社会変革を目指すアプローチのことである。社会課題解決のために、ヒト・モノ・カネ・情報を特定の課題解決の旗の下に、効果的かつ集中的に資本投下することにより、課題解決を行っていく活動」



地域課題の発見とアジェンダの設定

地域に入らないとわからないミクロな視点

- プロジェクトコーディネーターが地域に入ってヒアリングを行い、社会的インパクトにつながるテーマや課題、資源を抽出



×

データから見るマクロな視点



- RESASなどの公開データから見えてくる構造的な課題の抽出のほか、ミクロ起点の課題を社会インパクトにつなげるための裏打ちを実施

分析・まとめのポイント

- しっかりと経済循環の一部として機能できるか
- インパクトとして地域に残るか
- 地域と人のWell-being（幸福）につながるか
- 類似する県内外の他地域へ応用可能か

5つのアジェンダを設定



人



産業



健康



地域資源の
保全



環境保全

5つのアジェンダ（取組みの指標）



このプロジェクトが目指していること ③

○ 未来のリーダー人材の育成

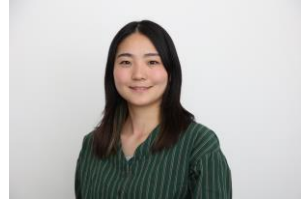
- 20代から30代の若手起業家がプロジェクトコーディネーターとしてヒアリングやデータ分析、アジェンダ分科会の運営などを担い、プロジェクトを推進



Chief
coordinator
小野寺 忠司



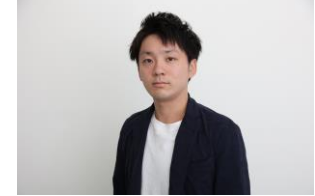
Vice
coordinator
小口 貴幸



Coordinator
吉野 優美
真室川町担当
地域資源アジェンダ



Coordinator
新関 耀
金山町担当
環境保全アジェンダ



Coordinator
末永 玲於
鮭川村担当
人アジェンダ



Data analyst
村上 和隆
データ担当
健康アジェンダ



Coordinat
or
阿部 公一
産業アジェンダ



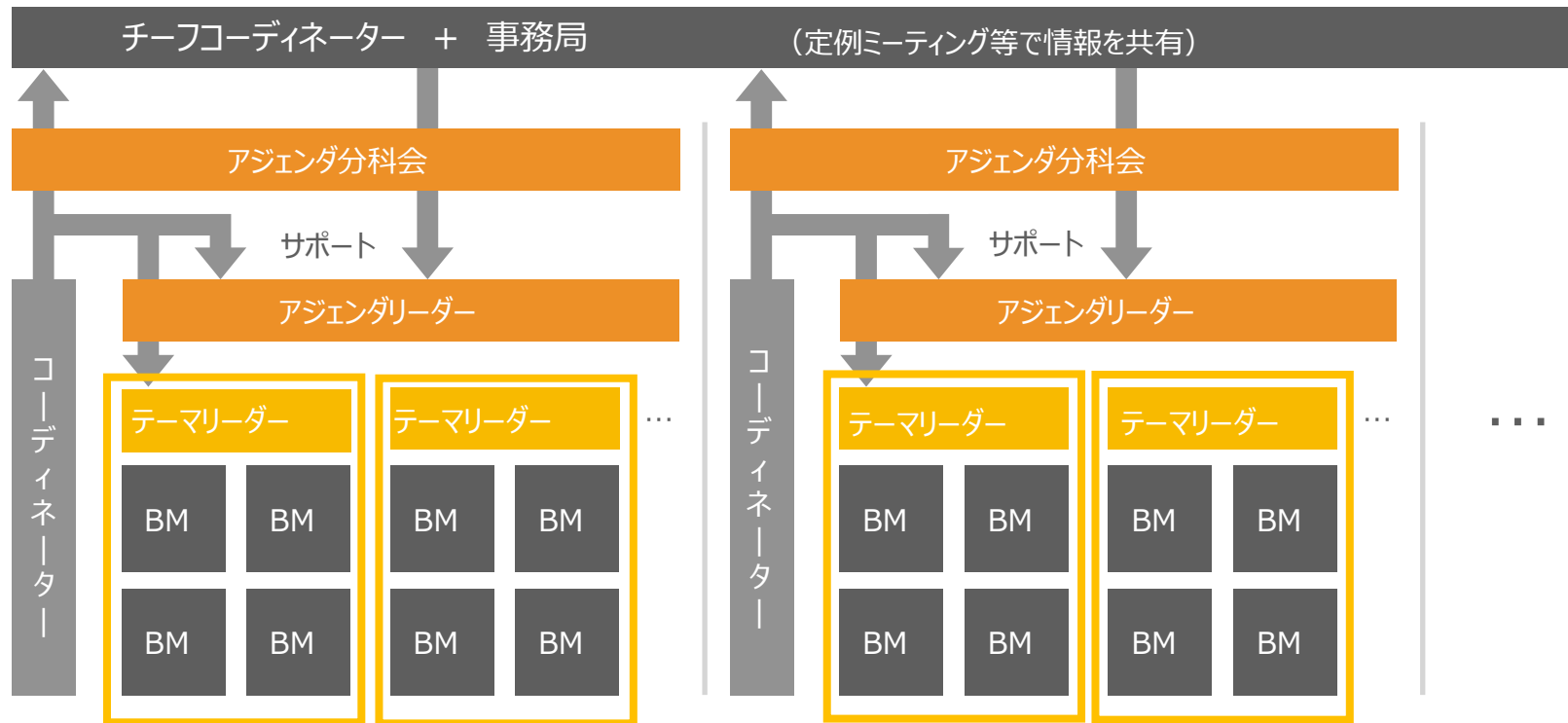
Data analyst
佐々木智哉
データ担当



Coordinator
會田悠城
広報担当

運営体制の構築

- アジェンダごとに分科会を設定
- ボードメンバーとの協議を踏まえて、アジェンダに紐づく実証実験を行えるようなテーマを抽出し、その実証実験に向けて準備、実行
- 個別のテーマについては、グループを結成し、そのテーマリーダーがそれぞれのグループを運営



※BM=ボードメンバー

「社会課題解決型ビジネス」の創出

150の
ボードメンバー



約30の
ビジネスアイデア

地域課題の解決 と 起業家の創出

- 生産性、付加価値を高めることにより、人口が減っても収益は減らない（生活レベルが下がらない）地域をつくる
- 新たな存在価値・意義に基づくビジネスを創出し、利益を生み出すエコシステムにより経済効果を上げていく

今後の記者会見予定

2月9日（金）

14時から15時30分 @ 鮭川村役場（予定）

テーマ：地域産農産物・バイオマス資源の畜産飼料の活用による域内循環プロジェクト

リーダー：（株）アルファテック

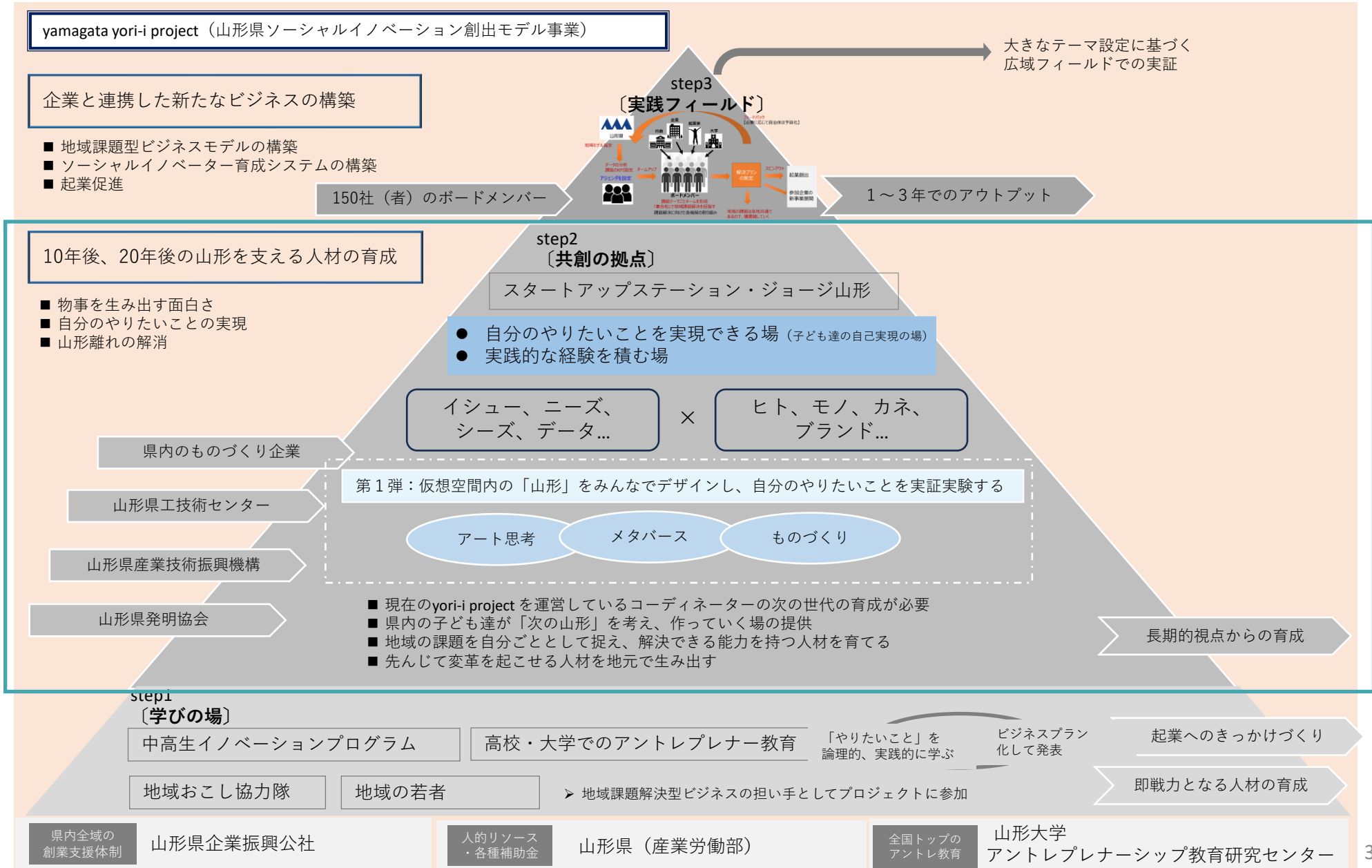
2月13日（水）

10時から11時 @ 金山町農村環境改善センター

テーマ：早生樹ヤマトダマの栽培によるバイオマス資源の確保

リーダー：（株）オウルテス

プロジェクト全体図



参考

これまでの実績 01

第1弾

(令和4年8月31日記者発表)

一般社団法人 最上イノベーションエクスキュート

アジェンダ：人
解決する課題：教育サービス不足への対応

【参画企業】

株式会社JPD、株式会社ヤマムラ、
学校法人新庄学園

【目的】

- ① 中高生のアントレプレナーシップ（起業家精神）の醸成
- ② 論理コミュニケーション力を身につける場の提供
- ③ イノベーションをもたらす新たな価値を創出するための思考・行動要素を持つ人材の育成



第2弾

(令和4年9月30日記者発表)

最上地域 早生桐産業創造プロジェクト

アジェンダ：環境保全、産業
解決する課題：森林資源減少の抑制

【参画企業】

株式会社佐藤運送、
有限会社グリーンバレー 等

【目的】

杉に比べて成長の早さが10倍、二酸化炭素の吸収量が5倍の早生桐の森林造成を通じ、
① 荒廃地の再利用等による環境の保全
② 桐材の商品化等による地域林業の再構築を目指す。



2年目の早生桐
直径14cm



5月植栽の早生桐
人物は身長170cm

第3弾

(令和4年11月14日記者発表)

「大学食堂おいしい山形」プロジェクト

アジェンダ：人、産業
解決する課題：交流人口拡大、所得向上

【参画企業】

一般社団法人スマートニッチ応援団

【目的】

首都圏の学生が最上地域の食材をふんだんに使う「学生食堂」を東京都内に開設し、そこで最上エリアの地域資源をPRすることにより、最上地域の持つ価値の再構築と山形ファンづくりを行う。



これまでの実績 02

第4弾

(令和5年6月20日記者発表)

「共創の拠点」をつくる 「サイヒロコプログラム」

アジェンダ：環境保全
解決する課題：若者流出、DX技術の向上

【参画企業】

一般社団法人SAI
東日本電信電話株式会社
エヌ・ティ・ティコミュニケーションズ
株式会社

【目的】

世界的な環境アーティストであるサイヒロコ氏からアート思考を学びつつ、氏の作品と親和性の高いデジタル技術を活用してメタバース山形県をつくり、その中で自分がやりたいことに挑戦することを通して、起業・創業のアイデアを見つけ出すことを目指す。



第5弾

(令和5年7月11日記者発表)

合同会社 Circular Thanks

アジェンダ：健康
解決する課題：地元食材を活用した健康増進、「食」を通じた魅力発信

【参画企業】

合同会社 Circular Thanks

【目的】

最上地域の伝承野菜や山菜など、健康機能を持つ素材を活用し、ストレス社会における美容と健康に関する問題解決に挑むとともに、「食」を通して山形県全体の魅力を発信する。



第6弾

(令和5年7月18日記者発表)

株式会社 リンクス

アジェンダ：健康
解決する課題：スポーツを通じた人々の健康増進

【参画企業】

株式会社 リンクス
新庄商工会議所

【目的】

スポーツを通じて住民の体力向上や健康寿命の増進を図る。また、全国でも珍しい「会社が運営する総合型地域スポーツクラブ」を目指す。



これまでの実績 03

第7弾

(令和5年8月8日記者発表)

「**金山町・神室の自然に触れるアクティビティ**」
“**道楽 神室ベース**”立ち上げ

アジェンダ：環境保全
解決する課題：自然体験、交流人口創出

【参画企業】
道楽 株式会社
株式会社Be-Ryu

【目的】
町内外の若者をメインターゲットとし、グリーンバレー神室の豊かな自然環境を活用した自然アクティビティを提供。
自然体験を通して、もっと自然に触れ、自然の大切さを学び、地域の環境保全に結びついていくことをめざして事業を展開。



第8弾

(令和5年10月31日記者発表)

移住者と遊休不動産を繋げる
「**空き家・移住アソシエーション**」

アジェンダ：人
解決する課題：移住者支援・空き家対策

【参画企業】
RoomruBe、県内不動産事業者、
地域の起業家

【目的】
空き家が住めなくなる状態になる前に
県外からの移住者など必要な人に流通させるエコシステムを構築する。
推進組織を設立することで、情報収集力と発信力を高める。



第9弾

(令和5年11月28日記者発表)

”服“の力で地域に”幸福 (well-being) “を
—**一般社団法人 Fuku-Well 設立**—

アジェンダ：健康
解決する課題：衣服を通じた健康問題の
解決とwell-beingの促進

【参画企業】
医療法人慈心会井出眼科病院
新庄商工会議所

【目的】
高齢・障がい・病気などを理由に、衣服の着脱等に不便や難しさを抱える方の自立を支援しつつ、着ることの楽しみや出かけることの後押しによりWell-beingを叶えることを目指す。



企業を通して地域や社会を学ぶAIプラットフォーム

「株式会社 Ciel」 設立

アジェンダ 人・健康

解決する課題

- 高校生のキャリア形成に寄与することを目的とした、最新の生成系AI技術による企業情報の提供
- 高校生が離職する大きな理由の一つである「ミスマッチによる強度な心身ストレス」の解消

- テーマリーダーの村上和隆氏は山形大学大学院 理工学研究科（理学系） 数理科学専攻の院生
- ある県内高校を訪問した際膨大な求人票を目にし、高校生の就職活動は大学生のように大手SaaSを使えないことに違和感を持ち、自身で調べていく中で、高校生を対象とした独自の就活システムは多くの問題を抱えていることに気がついた
- 大学院での大規模自然言語処理モデルの研究を行う過程で得た知見をもとにその問題を解決できるのではないかと思いあたり、コーディネーターとして参加しているyori-i project内で事業化に向け検討を開始
- コンセプト検証等を通し、就職意志の有無に関わらず、社会の重要な構成要素である企業を知ることは将来的なキャリア形成にとっても重要であることから、企業を通して地域や社会を結ぶAIプラットフォームを提供する新会社を設立することとなった

これまでの実績 05

連携 事業

RESASを活用した施策立案支援事業

◆ 分析結果については、東北経済産業局のホームページにて公開中
https://www.tohoku.meti.go.jp/kikaku/index_chihososei.html



支援 事業

「グリーンバレー神室が持つ地域資源や周辺環境を活用し、
ホテルシェーネスハイム金山の魅力を高める取り組み」を支援

【支援の概要】

yori-i projectにおける金山町でのヒアリングのうち、約10%がホテルについてであったことを踏まえ、ホテル開発・運営の実績があり地域の活性化を目指して参画している株式会社Be-Ryuをマッチング。20回以上の金山町関係各所との協議の過程において、yori-iとしても随所でフォロー。

R5.4月、シェーネスハイム金山を運営する株式会社グリーンバレー神室振興公社と株式会社Be-Ryuの間で当該ホテルのマネジメント基本契約を締結。



広報 事業

地域資源アジェンダミーティング

「最上の森林とつながる時代～森林を起点に、「自分にできる1歩」を考える～」を開催

【開催概要】

会場 真室川町イベントハウス遊楽館

参加者 約110名（会場70名、オンライン40名）

内容 講演① 『地域資源・森林業の可能性は無限大！』

講演② 『最上をエネルギー自給する地域に』

講演③ 『日本の森林をモリアゲる！』

参加型パネル&トークセッション

※講演内容は、ホームページ（yori-i.org）で動画配信

